

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.6 >

明日へのチャレンジ「あすチャレ！」実践について

日本財団パラスポーツサポートセンターと連携して、児童生徒がパラスポーツを体験すること等を通して、共生社会を考える深い学びの機会を提供する「あすチャレ！」プログラムの実施校での様子について紹介します。

あすチャレ！ジュニアアカデミー（ワークショップ型授業）

実施校	長柄町立長柄小学校（3年生～6年生 75人）
講師紹介	まじま まこと 馬島 誠 講師 〔パラアイスホッケー〕 2006年トリノパラリンピック 5位 2010年バンクーバーパラリンピック 銀メダル 〔パラ・パワーリフティング〕 2018年アジアパラ競技大会 7位 2019年全日本国際招待選手権大会 97kg級優勝



銀メダルを見せてくれた馬島講師

講師からパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えて、パラスポーツや障害に関する話をし、いただき、障害の疑似体験について対話を交えながらゲーム感覚で行いました。

障害への理解を深め、共生社会の実現のために自分は何ができるのかをみんなで考えることができました。

パラ
スポーツ
などの
説明



ゲーム
感覚で
聴覚
障害の
体験



本物の
銀メダル
の
重さを
体感



講師
との
記念
撮影



児童
の
感想

- ・障害のある人を見かけたら、声を掛けて助けてあげようと思いました。
- ・銀メダルがとても重いことに感動しました。
- ・障害があっても努力することで、いろいろなことが乗り越えられると思いました。
- ・テレビでパラスポーツを応援したいです。
- ・講師の話を聴いて、まずはみんなのために運動会の応援練習を頑張ろうと思いました。

お問い合わせ先

企画管理部教育政策課

電話 043-223-4177